

首都ジュバ近郊における SSPDF と SPLM/IO の衝突拡大に伴う注意喚起(出国検討のお願い)

【ポイント】

- 3月24日から26日にかけて、首都ジュバ西部ウンリット(Wunlit)、ジュバ西部ランブール(Rambur)、ジュバ南部レジャフ(Rejaf)で南スーダン人民防衛軍(SSPDF)と反主流派(SPLM-IO)の衝突が発生。
- ジュバを含む国内全土で政治的緊張がこれまで以上に高まり、今後急速に情勢が悪化する恐れがあることから、どのような目的であれ、渡航は止めてください。既に滞在されている方は、最新の情報を入手しつつ、出国が可能な場合は出国を検討してください。

【本文】

3月24日から26日にかけて、ジュバ西部ウンリット(Wunlit)(24日)、ジュバ西部ランブール(Rambur)(25日)、ジュバ南部レジャフ(Rejaf)(26日)で南スーダン人民防衛軍(SSPDF)と反主流派(SPLM-IO)の衝突が発生しました。また、キール大統領の要請を受けて、ウガンダ人民防衛軍(UPDF)が派遣され、ジュバ市内および近郊を含む各地で展開しています。したがって、ジュバにおいても今後情勢が急速に悪化する恐れがあります。

つきましては、在留邦人の皆様におかれましては、以下の点に十分ご留意いただきますようお願いいたします。

1. 現地の報道、インターネット、SNS、新聞などを活用し、衝突状況や関連の治安情報を随時確認してください。
2. 衝突が発生したエリアやその周辺、あるいは不測の事態が起こり得る可能性が高い場所への立ち入りは絶対避けてください。
3. やむを得ず外出する際は周辺の様子を常に確認し、付近に不審な動きや集団等がある場合は速やかに安全な場所へ移動してください。
4. 万一の際に備え、ご家族・知人・勤務先などとの連絡体制を改めて確認してください。緊急時には、在南スーダン日本国大使館に速やかにご連絡ください。
5. 出国が可能な状況にある場合には、早期に安全な地域・国へ出国することをご検討ください。航空券の確保や交通手段、宿泊先などについては迅速に情報収集を行い、万が一に備えて事前に準備を進めてください。

在留邦人の皆様におかれましては、情勢が刻一刻と変化する可能性があることを念頭に置き、安全対策を最優先として行動いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

なお、外務省は、南スーダンの危険情報を首都ジュバについては「レベル3：渡航は止めてください。（渡航中止勧告）」、その他の地域については「レベル4：退避してください。渡航は止めてください。（退避勧告）」を発出しています。